

国立研究開発法人防災科学技術研究所
平成26年度及び第3期中期目標期間中の業務実績に対する評価軸(案)

防災科学技術研究所の基本目標：災害に強い社会の実現

資料5-3

○評価軸(A):法人の使命、個別目標等に照らして十分な取組が行われ、成果が創出されているか

【科学的・技術的観点】

- 研究・開発の成果・取組の科学的・技術的意義は十分に大きなものであるか

【社会的観点】

- 成果・取組が防災・減災に係る活動(政策・制度を含む)に資するものか

【国際的観点】

- 成果・取組が国際的な水準に照らして意義があるものか

【時間的観点】

- 成果・取組が今後の発展の可能性があるものであるか

【妥当性の観点】

- 成果・取組が国の方針や社会のニーズと適合しているか

○評価軸(B):適正、効果的かつ効率的な業務運営が行われているか

【長としての資質の観点】

- リーダーシップが発揮されているか

【体制の観点】

- 法人の長のマネジメントをサポートする仕組み、体制等が適切であるか

【適正性の観点】

- コンプライアンス体制は整備されているか
- 安全衛生及び職場環境への配慮が十分に図られているか
- 外部有識者を加えた体制で評価が行われているか

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)の指針(平成26年7月17日)で例示された評価軸を参考

○政策的観点からの評価軸

【イノベーションの観点】

- 国内外の大学、研究機関、自治体、民間事業者との連携・協力の取組が図られているか
- 社会の防災力向上に繋がる人材育成が適切に図られているか
- 関連業界、受講者等のニーズの変化を踏まえた取組を行っているか
- 将来のニーズ等を反映した研究テーマの設定が適切になされているか
- 知的財産権の取得・管理・活用は適切になされているか

【アウトリーチの観点】

- 研究・開発の成果・取組の価値を社会に向けて情報発信する取組を推進しているか

【人材の育成・支援の観点】

- 若手研究者に対する適切な支援の方策が図られているか
- 女性研究者、外国人研究者等の育成と活躍促進のための取組が推進されているか
- 研究者、技術者、研究開発マネジメント人材の育成、支援、キャリアパス展開等の取組が十分であるか

【領域間連携の研究等の推進の観点】

- 連携研究等の推進の取組が図られているか

【研究環境充実の観点】

- 基盤となるデータの整備・充実等の取組が図られているか
- 防災科学技術の基盤となる観測・設備等の整備・充実が図られているか

【適正な体制の確保の観点】

- 研究不正に対応するための規定や組織としての責任体制の整備及び運用が適切になされているか

【その他】

- 災害発生の際に必要な対応がなされているか
- 国や自治体等に対して調査研究成果の普及と活用の促進を図ることができたか